

還暦女子の生態

第6話



いもねえさん

草食系男子って？

昨日も新聞に出ていたなあ。

草食系男子のこと、この頃は若者だけでなく30・40代にも多たって。

どういうことをいうのかいまいちわからないのだが。。。

身近にいるあの男子は、おそらく草食系ではなかろうか。

仕事以外はあんまり外に出ない、ネットとかユーチューブ、ゲームをして家の中で過ごす。

さらに少食。

コンビニでのお弁当多すぎませんか？コンビニでミニ弁当が出たときは嬉しかった、と。

服装は地味。黒、白、たまーに濃い茶色。

あんまり力なさそう。。。肉体労働は無理っぽい。

やさしい、時にくすぐったいほどやさしすぎる、誰にでも。

今日は疲れたので、夕食はパンとクッキーにします、なあんて。

趣味は貯金？それは知らないけど。

これだけで何とも言えないけど、でも、こういうのを草食系男子っていうのかしら。

すぐに座りたくなる年頃なんだな一

上京して困るのは休む所。

ここいらは雨が降っていなければどこにでも座れる、椅子なんかいない、そしてちっとも不自然ではない。

ひとつの風景をなしているのだ。

都内に行ったら腰をおろすところ欲しいよ一。

座るところを探して歩いている時がある。都内って立ち止まることが許されない感じ。

スタバに何度も入ってはお腹がガブガブになるし。。。

デパートでの滞在時間を長くするために椅子を、それも座りやすい椅子をたくさん置く傾向にあるという。

横浜でホテルに泊まった時、地下街を歩くと午前10時を過ぎるとどこからともなくどんどん人が湧き出てきた。

おば様やおじ様が多い。

きっと生活に余裕があるんだらうな一、カルチャースクールかしら。。。

帰りにデパートに寄ったとしたら、絶対に座りたくなるって。

私もいくつかは椅子のある場所は知っている。煙草好きの人は煙草が吸える場所を頭に入れておくそうだ。座れる場所も頭に入れておかななくては。

でも、もっといえば寝転びたいのだ。

昔、銀行に勤めていた時、電算センターに行ったことがある。

休憩室というか休養室というか、コンピューターに1日携わっていると、本格的な休養が必要なのだろう。

うす暗い部屋で、スリッパ型のものが並べてあって、そこにスッポリ横になるのだ。

スリッパにもぐりこむ感じで胸あたりまですっぽりおおわれて、中ではかすかな音楽が流れていた。

暗いから自然と目をつむる。ほんの5分ほどの体験、気持ちよかった一。リラックスできそう。。。

。。。

手も足も揉んでいないからそういうところで30分寝かせて一、休ませて一。

ネットカフェでも休めそうだけど、還暦女子にはちょっとな、、、

かつて職場の椅子に正座をして座っていた年配の人がいたけど、今となってはわかる気もする。どこが、といわれても答えようがないけどね。

部屋の良し悪しは関係なくなった？。

若かりし頃、あんな部屋がいい、こんな部屋がいいと言っていた私に
職場の先輩は、こう言った。

若い時には住み心地のいい部屋には住まない方がいい。

住み心地の悪い部屋の方がむしろいい。

部屋に居るより、どんどん外に出るべきだよ、外でいろいろ吸収しなさい、若い時は寝るところ
があればいいの、と。

でも今は完全にそれは通用しなくなったね。

部屋が良かろうが悪かろうが必要不可欠なもの、それはネットだろう。

その先輩はおそらくもうこの世にはいないと思うが、今なら何と言ったかなあ。

酸欠～、、、そして金欠～、、、

日替わり、そして時には午前午後替わりで仕事をする。

還暦女子は、もうこれからはやりたい仕事をするのだ。フルタイムでもない。

もう、8時間なんて拘束されるのはイヤよ！

今日はパンを焼く仕事。

朝8時スタートで、昼に焼きたてパンをレストランに提供する。

病み上がりだし、体調のよくない私、いつもなら考えられないことだが、朝食はオロナミンCだけ。

ハードさはいつもよりゆったりなのだけれどだんだんとクラクラしてくる。

朝食を食べないとこんなに貧血っぽいのか？昼までもつ自信ないぞ、やっぱりこの仕事も限界かなあ。。

ダメだ、なんかにつかまってるか、身体をもたせかけてないと。。。横になりたい気分。

若い彼に聞いた、朝ごはんいつも食べてないんでしょ、身体平気？。。。いつもですから、、、私、今朝食べてこなかったらダメみたいなんだけど、、、めまいっていうか、、、もつかなあ、、、

若い彼女が椅子に座った、真っ青。なんかつらそうだけど、、、ええ、、、

おっとーっ！！！！！！換気扇まわってないじゃない！！！！！！！！

酸欠だよ！換気扇！窓！

外に出る、酸素だー、目の前は畑だし、緑で囲まれているまわりは酸素だらけだ。酸素おいしい～

まだ気温が低く、パンの発酵に部屋の温度を高くするために閉め切っていた。

若い彼もクラクラしてきていたと、彼女も同じだった、と。

みんなガマン強いんだなあ、私だけがクラクラとか、今日はダメとか言って騒いで。。。でもね、明らかにおかしいと思った時は遠慮しないで言わないとだよ！

換気扇を回し、窓を開けたら、あー、スーッとラクになった。

高濃度の一酸化炭素とかタバコのニコチンとかは、3呼吸ぐらいで脳にいくというから、酸素もあつというまに脳に届いたらしい。

すぐにウソみたいに回復し、なあんだ、まだ私いけるじゃん、ナンテ。

そして経験則から発見が早くて大事にいたらなかったと、自分の存在を自分で納得させる。まだ私使えるかも。

閉店するパン屋さんから、この大きなガスオーブンを譲り受けた時、換気扇をまわすことを念を押して言われた。

チェックが甘かった、深く反省、でも良かったあ。。。救急車呼ぶことにならないで。

帰りに郵便局で息子の進学のための生活支度金やら、不動産屋への払い込み、生協加入やらなんやらで30万円おろした。

家に帰って息子と計算した。

30万円ではぜんぜん足りなかった。ここでもチェックが甘かったー。金欠だ！

今日は酸欠と金欠の日だったね。

自然に、自然に。。。

今日の訪問入浴に行ったお宅は最初から笑顔いっぱい心待ちにしておられた様子。
ご苦労様ですね、とすごく元気そうだ。
最初に訪問した頃と比べると本当にリラックスされて会話もはずむ。

が、入浴も終了し最後に毛布をかけようとする、これはうちのじゃありません、と。
じゃー、寒いから借りておきましょうね。
息子さんが違う毛布をもってこられた、こっちにするかー、こっちがいいのかー、と。
それをかけても、これもうちのじゃありません、と。
そうですか、でも今日は冷えるから、借りておきましょうね。探してみますから。
そうですねえ。そうしましょう。

昨日の新聞には自分の母親がお金をとられたなどと認知症になってきている、
やはり肉親だと悲しみや悔しさで感情的になることもある、
夫は、大丈夫だれかが届けてくれた、ホラ、と言って、お互い笑っている。エライと。
その投稿を読んだばかりだった。

利用者さんにもご家族にもほんの少しでもほっとしていただける時間を提供してあげられたら、
と思う。
又来ますね。お疲れ様でした、ゆっくり休んで下さいね。

地震、その時私は。。。

地震から1週間。

地震、その時私は職場にいた。

何かガタガタ、風じゃないですか？でも、あそこのフダ、揺れてるよ。

サイレンが鳴り、津波警報が出たと防災放送。

家に帰るとサイレンとともに大津波警報、海岸付近は避難して下さい、と。

テレビを見る習慣もないし、疲れて寝転んでいたら遠く離れている姉から電話。

あなたのこの大津波は大丈夫？

知らん？

テレビみんさい、ものすごいことになるとるよ、と。

そこでテレビをつけてみた。もうリモコンの電池がないのか接触が悪いのか普段の行いが悪いのか、

なかなかテレビがついてくれなかった。

やっとついた。

言葉がない。。。。

まだ情報がないのだろう、同じ画面ばかり何度も。

でも職場と違って木造だし余震はくる。揺れてる。

またきた。

テレビではたくさんの地域で地震があったことをテロップで流す。

またきた。

でも一番情報が欲しいのは現地にいる人だ。

でもきっとそこには情報は何も届いていない。

かつて、この地に大きな台風が来た時、夜中からライフラインがストップ。

小学低学年の子供と2人、何がどうなっているのかさっぱりわからず、

当時はケータイもなく、兄からもらったという、手のひらに乗るぐらいの小さな電池式のテレビを子供が出してきた。

場所をいろいろ変えてやっと電波をキャッチ、ニュースで台風でライフラインがストップしていることを知った。

学校ってどうなってるんだろう、まあいいや、停電だし、水も電話もアウトだ。

台風だからそのうち過ぎ去る。

午後給水車が来るような案内の車の音が聞こえたのでタンクをもって走った。

隣は我が家からは見えない所にある。

でも隣の人と話ができたことで少し安心。

それでも停電が続くと情報がまったくなく、電話もできない、この地でない人に情報がいつている。

今回の地震がそんなレベルのものでないことは当然だ。

情報が届かない、何がどうなっているのかわからないという不安、これってものすごい不安だと思う。

1週間たった今でもまだ何にも届かない所があるという、身を寄せ合って頑張る。。。

今、私にできることは？

「今、私たちにできることは」

これが、スーパーのチラシの一番上に大きく書いてあった。

新聞を読むと、多くの見出しに心打たれ、それは身震いをするほどだ。

悲しい事、つらい事、そして多くの支えあう気持ち、冷静さ、秩序、各国からの援助、不眠不休で作業にあつたておられる方々、危険な作業に従事される方々、それを思うと、いてもたってもいられない気持ちになる。

ネットを見ていたら、ヤフーのポイントを義援金に出せると。即、させてもらった。テレビを見たり新聞を読んでいたら、知らないことだらけだったことに、ア然とする。そしてみんないい人だらけだと思う。東電を、政府を追及する気には今はなれない。必死でやってくれていると思うから。

多くの国が、日本の惨状を見て、ざまあみろ、とは思わない、絶対に。

日本人のこの冷静さや、この期にあってもなお秩序をもって助け合っている姿を賞賛している。私たちの普段のこの行動ってこんなにも海外から見ると立派だったんだー。この国に生まれ育ってこんな行動様式が身に付いたことを誇りに思ったりして。。。

不思議に思うのは、世界の国が日本を助けようとしている、

みんなが仲良くすればいいじゃない、戦争なんかしなければいいじゃない、なんで戦争をする必要があるの？

主義主張が命に代えられるのか、領土の大きさが命に代えられるのか、資源が多いとか少ないとかが命に代えられるのか、まったく、男というのはケンカが好きで困るよなー。

やりたい人たちだけで、本人が思う存分ケンカをしたまえ、巻き添えはなしでね。

私の提案は、国の代表はすべて女性にすることだ。子供を4人以上生んだ人に限る。私が4人の母だから。1人として戦争で死なせないぞ。

それにしても今、私にできることは何だろう。

まだ、現場はプロにまかせるしかないんだろうなー。

ひとつの提案だ。

今、お金があり、時間があり、まだ少し残っている体力があり、戦後の貧しさを知り生活の知恵をもっている世代、それこそが団塊、そして還暦の私たちではないのか。

ハードなボランティア活動はできないにしても、今まで社会でリーダーシップをとってきた世代だ。

有り余った能力を差し出そうよ。でしゃばらず、時にでしゃばり。

私だって還暦女子。何かできないかと。

ねえ、動こうよ！どうやって？私はリーダーシップ能力はない、だけど何か協力できるよ、まだ元気あるよ。

母と言うものは、弱者をみると放っておけない習性があるのだ。自分が弱者だからこそわかるのだ。

原発って。

原発事故については予断を許さない状況にあると、
先ほど菅総理が会見で言っていた。

広島出身だからか放射能という言葉には敏感に反応する。
原子爆弾が最初に投下されたのだから。未だに苦しんでいる人がいるのだから。
今日の新聞には被爆した人を受け入れる病院ということで広島多くの病院名が出ていた。
子供の頃は雨が降ると、放射能の雨じゃけえ濡れたらいけんよ、と。

姉が電話で、放射能のことなんかで避難するんならいつでも受け入れる態勢はある、と言ってくれた。

姉は中学生の頃原因不明で倒れることがあり検査入院したことがある。
姉は団塊の世代で直接被爆はしていないが、入院したのは大学病院の被爆内科であった。
母がそのことで泣いていたのを知っている。
私も心臓がドッキンと大きく打った、どうしょう、どうしょう、、、
結局原因はわからなかったが。。。

私の単純な能力のない頭で考える。

もう電力は原子力に頼らない方法を考えよう、日本人の頭脳で。
日本人って真面目だし、頭いいじゃない、冷静だし。これは日本人の血筋のような気がする。
それに、みんなで電力の消費を落とせば何とかかなると思う。
夜中に数台しか通らない道路に街頭を一晩中つけることないじゃない。
電気使いすぎだよ。

そういえば、電力不足で寒いところでも停電を強いられガマンしているというのに
電力をいっぱい使う野球をやるなんて、どうかしてるとしかいいようがない。
それで元気づけようなんて、、、電気がいけない病院で命が救えないじゃない、
停電でどうやってテレビを見るんだよ、
家族の行方がわからないのに野球で気持ちが和らぐのか？
何県の何市の人の元気が出るんだ。避難所で貴重な電池を使ってラジオで野球放送を聴くのか？
まあ、もともと私はスポーツに興味があったくないので言いたい放題ですが。
選手会はエライ、ガンバレ！　せめてユニホームに「ガンバレ日本」と書いてくれ。

とっても寒い。

訪問入浴のユニホームは半袖。外で手を洗わせてもらおう。肘まで。
風も吹いて冷たい。でも、寒いなんて言ってもらえないね、と言いつつ。
灯油がなくなった。でも買うのに躊躇してしまう。10℃ぐらいで寒いなんて言っているの

かなあ。。。

東北の方は寒さに強いのかなあ、そしてガマン強いのかなあ。

でも、ダメ。

はやく、はやく、何とかしてあげて！

きっと1分1秒でも何とかしようと現場の方は力をつくしておられるんだと思う。

だからこそ、今、何もできない自分自身もどかしい。

どうしたらいいんだろう。。。。。

多くの善意が早く届きますように。。。。

ゼロからまたやりますよ！

ゼロからまたやりますよ！

この言葉に又涙してしまった。

このところ悲しみの涙より感動の涙の方が多い。

いつもなら、それは策略だとひねくれた考えをするだろう、私はね。

ガレキの中のくずれた家の中から救助され、杖をついて支えられて出てきた80歳ぐらいの方。

ほっとした安堵の表情と共に言われた言葉がこれだった。

「ゼロからまたやりますよ、大丈夫です！」その言葉の力強かったこと！

ゼロからのスタート。

我が家は何回そう思ったことか。

そして何回ゼロからスタートしたことか。。。

私一人で十分な支援はできない子供たち4人はゼロからスタートだった。

実家もそうだった、原子爆弾投下の焼け野原からのスタートだった。

6畳、3畳の長屋の市営住宅に6人で暮らしていたころから私の記憶はある。

親の遺産を莫大に受け継いだ政治家がいるようだ。

自分の築き上げたもの以外は拋出したまえ。

自分で築いたものを義援金として出すスポーツ選手や芸能人、社長、そこから買うぞ、あなたを
応援しますよ！

親の遺産で金銭感覚がわからなくなっている政治家は信用できないが、

ガレキの中から力強く再生を言われた方にはとても勇気をもたらした。

私も又ゼロからスタート！

おねがいします、おねがいします、救援物資をはやく届けてあげてください。

温かいものを食べさせてあげてください。

支援、復興、そして協力拒否だって？

自らの手で復興をはじめた地元の方々、
協力をおしまない方々、
荷物をリレーで次々に運ぶのも、きっと1分1秒でもはやくとの願いだろうな—
その様子を見ながら、人間の力は自然の力には勝てないけれど、
素晴らしいな—と素直に思う。

アメリカから原子力関係者450人が日本へやってくるという。
これは何をしにくるのかは私なんかにはわからない。
ただ広島での被爆の研究を広島のA B C Cというところで行っていたのは知っている。
小学校の頃、授業中黒塗りのハイヤーがやってきて友達がA B C Cへ行ったのを記憶している。
検査をしたら帰ってきた。
いいな—、と言ったら、親にひどく叱られた。
アメリカは被爆資料をうんと持っているだろうし、研究もすすめているに違いないのだ。

その知力をもってきてくれるのなら大歓迎だ。
世界は一つではないのかと思うのは、あまりにもガキすぎですか？
私はケンカをする方がもっともっとガキだと思うよ。

だけど、この谷垣さんの協力拒否はどう考えたらいいのだろう。
私のカン違い？

菅総理が谷垣さんに原発関係のことの協力をお願いしたところ、谷垣さんは拒否したというのだ。
。民主党にまきこまれたくないということか、この日本の危機に直面した場面で。
谷垣さんを応援していた人は被災地に10人ぐらいはいるだろうに、
完全に裏切ったね。彼は日本をも裏切ったよ。これだけ海外からも応援をおしまないという時に
。

日本の政治家はダメだけれど、日本人はエライと海外のメディアは伝えた。
ダルビッシュ投手は、自分は野球人でもあるが人間でもあると。スバラシイ若者！
谷垣さん、あなたは政治家以外の何者でもなかったんだ——
政治のカケヒキもツナヒキもモモヒキも、今はそれどころじゃないという危機感がないのね。
まあ、こうなれば少なくとも自民よりは民主はマシだったかな？

みんなこんなに頑張ってるのに、、、

私もがんばるぞ！

